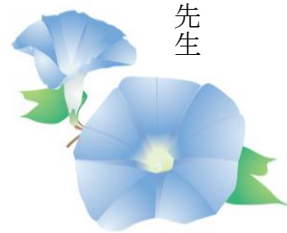


おかげさまで 国語

題字
国語部長
牧野 守先生



岡崎市現職研修委員会
国語・書写部

令和3年7月16日(金)

第1号

国語科の授業の力

現職研修委員会国語部長 牧野 守

やはり、物語の授業が好きだ。
昨年十二月、担任九年目の学級、
当時四年生の男子から手紙が届い
た。以下、一部を紹介する。

現在、私は東京都日野市の民間
保育園に勤めています。毎年お遊
戯会で五歳児の劇を担当していま
したが、今年はコロナの影響で劇
が行えませんでした。そこで、劇
から朗読に変更になり、題材を何
にしようかと考えたとき、ぱっと
頭に浮かんだのが、先生から教え
ていただいた「半日村」でした。
五歳児に内容が伝わるかと思
いましたが、読み聞かせをすると
「おもしろい」「本当にあった話な

の」等の声上がり、夢中になっ
ていました。

五歳児二十二人をそれぞれ読む
パートに分けて練習し、読む練習
だけではなく、半日村に出てくる
「もっこ」を作り、子供たちに体
験させたり、私も村人のような格
好をしたりと、子供たちもよ
りの半日村を気に入ってくれました。
村人になったときは、授業のとき
に「一平」の格好になったことを
懐かしく思いました。

お遊戯会本番でも、子供たちは
上手に読み、保護者からもよい感
想を多くいただき、大成功でした。
今回のこの成功は、先生が半日

村に出会わせてくれたおかげと思
い、感謝の気持ちをお伝えしたく
手紙にしました。

この手紙で、物語の授業が好き
なことを再確認した。物語はもち
ろん好きだが、私が好きなのは「物
語の授業」だ。授業を通して子供
たちと物語の世界を味わうことは、
とても楽しいことだからだ。

今年度、国語部の目標を「国語
科の授業が好きな岡崎の子供を育
てる」と示した。そのため、国語
科の本質に迫りながら、楽しさを
感じる授業にすること、個別に学
ぶ場面を整理し、支えること、話
し合うことを充実させることに、
力を入れていきたいと伝えた。

物語の世界に浸り、説明文から
新たな情報や述べ方の巧みさを知
り、話しことばや文章で伝え合う
喜びを感じてほしい。こうして、

ことばの力を磨くなかで自らを見
つめ直してほしい。これらは、国
語科の授業を通してできることだ。
「半日村(斎藤隆介作)」の実践は
つたないものだった。子供たちの
学習への勢いがあり、話し合いは
活発だった。学級園を耕している
子供たちが、半日村をそらんじて
いたこともあった。だが、実際には
授業の課題は盛りだくさんだっ
た。そんななかでも、確かなこと
は、私が「半日村」という教材に
ほれ込んでいたこと、子供たちと
ともに「半日村」を読み味わいた
いと思っていたことだ。

子供たちが国語科の授業が好
きになるには、私たちが教材を好
きになり、その教材の授業を子供
たちとともに楽しむことも必要だ
と思う。

手紙をくれた彼が国語科の授業
が好きになったかはわからない。
「半日村」の授業が彼の心に残っ
たこと、私が「半日村」の授業が
好きだったことは間違いない。



国語部行事予定

- ・七月二十八日(水)
授業力・教師力アップセミナー
↳基礎編↳
(総合学習センター)
- ・七月三十日(金)
授業力・教師力アップセミナー
↳応用編 小・国語↳
(総合学習センター)
- ・八月三日(火)
授業力・教師力アップセミナー
↳応用編 中・国語↳
(総合学習センター)
- ・八月六日(金)
三教研夏季研岡崎・幸田大会
(岡崎市民会館)
- ・八月三十一日(火)
岡崎市教育研究大会
(各会場)
- ・九月七日(火)
第二回国語主任会・作文審査会
(総合学習センター)
- ・十一月九日(火)
第二回書写主任会
(総合学習センター)
- ・一月十五日(土)、十六日(日)
岡崎市小中学校書き初め展
(岡崎市美術館)
- ・一月十八日(火)
第三回国語・書写主任会
(Teams)
- ※「さわらびの会」 検討中
- ※「形成の会」岡崎・幸田例会
開催日未定

本年度の研究の方向

本年度も国語部は、「小学校 文学・説明文」「小学校 表現・書写」「中学校」で、研究を進めます。「中学校」で、研究を進めます。今年度の研究主題は「言葉の力を磨き、高まりを実感できる授業」(二年次)です。研究主題に沿った、よりよい授業を目指し、実践に取り組んでいきます。

●重点的に取り組む視点

- ①「言葉の力」を付け、鍛え、磨く授業
子供が「言葉の力」を付け、鍛え、磨くために重視したいのは、学びの主体性である。子供自身が、言葉に対する見方・考え方をはたらかせたり、自らの認識を深めようとしたりすることと必要性を感じ、自ら学びに取り組んでいくことが求められる。
- ②個の学びを生かし、仲間とともに磨き合う授業
個の学びを仲間と磨き合うために重視したいのは、思考の「見える化」である。それぞれの考えのずれや違いを明確にしたり、焦点化して深めたりすることが求められる。
- ③生きてはたらく学力を育てる授業
生きてはたらく学力を育てるために大切にしたいのは、授業や単元の終末段階における振り返りの場の充実である。子供が学びをメタ認知し、今後の生活に生かすことができるような振り返りの工夫が求められる。

教育研究大会に向けて

八月三十一日(火)に行われる、岡崎市教育研究大会に向けて、レポートの作成をお願いします。レポート提出締め切りは、八月二日(月)です。今年度の国語の各分科会は、分散会場となります。

- ・1A シビックセンター
- ・1B 総合学習センター
- ・1C 東部市民センター

八月五日(木) 十二時から、各分科会のレポートがダウンロードできます。事前に目を通し、岡崎の教員の力量向上につながる研究大会にしていきましょう。

国語教育自主研究サークル

「さわらびの会」

国語・書写の授業力向上を目指す会です。コロナ禍の状況をみながら、開催を検討していきます。国語・書写の授業力向上につなげられるように研修内容を考え、実施していきたいと考えています。開催が決定した際には、連絡いたしますので、ぜひご参加ください。また、国語部ホームページに、さまざまな研修資料を掲載していきます。こちらも活用ください。



岡崎市小中学生作文コンクール 文集「おかざき」

岡崎市小中学生作文コンクールに向け、国語主任の先生を中心に各校で取り組まれていることと、思います。国語部ホームページに、「生活作文の書き方」や「指導補助プリント」等の資料が掲載されています。ご活用ください。書くことを通して、子供の認識力を高めていくことができるよう、作文指導をよろしくお願いします。

- ・応募票提出締め切り
九月三日(金)
- ・審査会
九月七日(火)



作文指導のあり方を探究する

「形成の会」

四十年以上続いている、作文の評価や指導等を学び合う会です。三河各地で開催される「例会」と、夏に開催される「夏安居(げあんじ)」があります。昨年度は、開催が見送られましたが、今年度は「例会」、「夏安居」ともに開催されます。一月には、「岡崎・幸田例会」も開催予定です。開催が決定しましたら、連絡いたしますので、作文を見る目や指導力を鍛えるために、ぜひご参加ください。